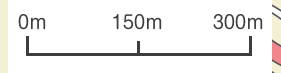




相生探訪ウォーキング

歴史豊かな若狭野を歩く

～矢野荘から旗本浅野家まで～ 【約6.5kmコース】



相生いきいきネット

若狭野



「矢野」という地名は今の相生全域を指す言葉だったので、北部が「矢野村」と名のりました。若狭野はかつて荘園の政所が置かれていたこともあり、中部こそ「矢野」にふさわしいと考えていましたが、北部が「矢野村」を使ってしまったので、浅野陣屋のあった若狭野から「若狭野村」という村名にしました。[礼座保存プロジェクト]



1 米澤先生の碑
若狭野村村長米澤安之助の碑。6期24年間村長をつとめた。
[相生ふるさと散歩] より

2 糸里制跡
集落を中心に糸里制の跡を残している。この集落だけは数少ない貴重な遺跡として圃場整備を行わず残されている。
[相生ふるさと散歩] より

3 礼座・(若狭野浅野陣屋跡)
若狭野浅野家は赤穂藩の分家である。赤穂藩断絶後も旗本として幕末まで続いた。陣屋跡の北部は須賀神社や広場になり、南部に礼座がある。浅野陣屋は敷地全域が残るうえに役所であった礼座が現存しており、大身旗本の陣屋として貴重な史跡である。礼座は藩札発行など家政改革のために建築された。明治以降、庵寺法界庵になるなど偶然に恵まれて、解体されることなく伝わってきた。

4 若狭野薬師堂
本尊は阿弥陀如来で江戸時代の作である。言い伝えでは和泉式部が小式部を京に連れ帰るとき守り本尊としていた薬師如来を預けて帰ったとされる。これを祀ったのが薬師堂と言われている。
[相生ふるさと散歩] より

5 若狭野古墳
7世紀の古墳。1辺15m、高さ3m、見かけ3段の方墳で、外護列石と濠がわずかに残っている。横穴式石室は羨道・玄門・玄室から成り立っている。
[礼座保存プロジェクト] より

6 養性山観音寺
東寺百合文書に登場する古刹。推古天皇の時、安養寺と称し、やがて子安観音とよばれるようになった。浅野陣屋初代浅野長恒が養性山観音寺と名付けて浅野家の菩提寺とした。
[相生ふるさと散歩] より

7 福井須賀神社
素戔嗚命を祀る。創建年月日不詳。
[相生ふるさと散歩] より

8 下土井大瀬神社
秦河勝公は、たびたび、矢野の三瀬山に狩に来ていました。その途中、休憩した先で、村人に養蚕の仕方を教えました。そこで、村人は、これを喜び、その恩に報いるために、土の壇を設けて、酒や食事などをふるまってもらいたいといひます。その後、ここに土の壇を設けてお宮としました。
[HP 相生の伝説と昔話] より

9 下土井城遠望
下土井城は一般に1267(文永4)年、岡豊前守に築城されたとされている。以来12代光顕の代関ヶ原合戦に至るまで下土井城主であったという。形状は瘦せ尾根上を削平し、堀切をうかがって城郭内の通行を遮断する典型的な南北朝の山城を呈している。
[相生市史] より

10 政所跡
東寺百合文書に下土井字政所の地名が残されている。その昔政務を司る役所があった跡ではないかと言われている。
[相生ふるさと散歩] より

11 水守亀之助文学碑
水守亀之助は1886(明治19)年、下土井生まれ。苦勞の末1919(大正8)年『帰れる父』『小さな菜鳥』が認められ文壇にデビューした。碑文は『小さな菜鳥』の一部分。
[相生ふるさと散歩] より

12 夜泣き地藏
子供をつれて参詣すると、夜泣きが治るといふ伝えがある。250年ほど前に亡くなった人の供養のための地藏と考えられる。
[相生ふるさと散歩] より

14 出村須賀神社
素戔嗚命を祀る。創建年月日不詳。
[相生ふるさと散歩] より